



『創業者、小規模事業者の傍で歩む決意』

平成28年3月に、22年間勤務した政府系金融機関を退職し、中小企業診断士として、独立開業しました。VEC様には在職中から大変お世話になりました。今回、てんこもりの誌面で近況報告の場をいただき、改めて感謝いたします。

小さい建設業を営む家で生まれ育った私は、就職の際、小企業の支援を天職にしようと思い、精一杯業務に邁進しました。特に創業支援の分野ではVEC様はじめ沢山の連携機関の方と協働して、沢山の起業家を支援することが出来ました。

転職は、父の秘めたる想いを知ったことです。安定した会社に息子が就職したことに安心しつつも、「大永」という屋号への未練があると、母から伝え聞き、自身が起業して屋号を引き継ぐことで、最後の親孝行が出来ると考え、一念発起しました。

創業者や小企業に一番近いところで経営相談に従事したいと思い、4月以降大阪府よろず支援拠点のコーディネーター、大阪商工会議所の金融専門相談員、大阪産業創造館のあきない経営サポーターとして経営相談に従事するほか、各地の商工会・商工会議所での創業や資金繰りをテーマとしたセミナーでの講演を行い、忙しくも充実した日々を過ごしております。

経営相談で、沢山の経営者の方と話をし気づいたことは、「社長は孤独である」ということです。販売促進、資金繰り、事業承継などなど、街の社長には考えなくてはならない問題が山積みですが、これらのことを、気軽に話できる人が社長の周りにおらず、一人で悩んでおられるケースが多いと感じます。

「聞いてもらえてよかった」「話をして頭がすっきりした」など、まず話すことで、少しでも不安を解消して、前向きに経営に取り組んでもらえる雰囲気、相談所で作っていきたいと思います。そのためには、専門的な知識を蓄積するだけでなく、「傾聴力」に磨きをかける必要があると考えています。

もう一点は、公的な経営相談のサービスが、創業者や小企業の方に意外と知られていないということです。これはてんこもり読者の皆様にも周知のご協力をいただけないかとお願いいたします。創業期に無料の公的相談を受けることで、安心して経営に取り組み、商売を軌道に乗せるスピードが早まります。

皆様と協働して、近畿の中小企業を支援してまいりたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

大永コンサルティング 永井俊二（中小企業診断士、1級販売士）

～貧乏神は幸せを運ぶ神、その神のいる家で育った誇り～

私が生まれたのは、京都府宮津市の丹後由良。日本三景の天橋立から少し京都寄り、海は遠浅で海水浴に適していることから京都の保養地として、別荘や旅館がたくさん建っていたが、私の家も、まわりの家も貧乏な時代であったと記憶しています。とくに冬になると暗くて、集落全体が冬眠しているように静まりかえってました。

祖母は、その現状をなんとかしようと考えたのか、女性の社会的地位が低い時代にもかかわらず、旅館組合と連携して温泉を掘る工事と湧いてくるであろうと思ったお湯で娯楽場の建設まで行っていました。

掘った井戸からは、温度の低い冷泉であったため事業は失敗に終わったが、今日で言えば社会起業家であったと思います。そして、両親のところには毎晩のように地域の方が相談にやってきて、風呂に入れたり、食事を提供したり、仕事を紹介したりなどしていました。自分たちの家も裕福ではないのに他人の世話などを優先するのに私は疑問を持ち始め、両親に「うちの家には貧乏神がいる」と言った場面を今でも脳裏に焼き付けています。

その後の高度成長、石油ショックなど、物があることが幸せという価値観の時代に、私は両親に「大人になったら、錦鯉が泳ぐような大きな家に住みたい」と話しました。

そして、高校進学後に書店で手に取った松下幸之助の本にはまり、教科書はほとんど読まず関連本を読みあさっていました。本には「商売はお金儲けだけでは駄目、社会に貢献することが必要」と書かれていて、それが2001年大日本スクリーン製造(株)[現(株)SCREENホールディングス]の社内ベンチャー制度の第一号で、オフィス用品などを販売する会社を立ち上げ、社会貢献も事業として取り組みました。ビジネスの現実厳しく、創業から二年間で六千万円の赤字となり、自分の給料も貰えないどん底状態に陥ってしまいました。しかし、そんななかでもカンボジアの小学校建設、日本中から文房具を寄贈する活動、障がい者スポーツ大会に協賛など身の丈に合わない活動に、周囲からは赤字の会社がすることではないと言われました。それでも活動を継続すると大きく流れが変わりはじめ、顔も名前も知らない人たちが、「どうせ買うなら社会貢献で頑張っている会社から」と口コミの市民活動が生まれ、新社屋を建てる会社からは、新調するオフィス家具一式、三千万円の受注を頂きました。オフィス用品は価格競争の時代に入っても、本に書かれていた「商売の基本」を貫くことが企業にとって大切であると確信しています。そして、天国の家族に「あの神は、貧乏だけではなく、幸せを運ぶ神だった」と伝えたいと思っています。

株式会社 カスタネット
代表取締役社長・社会貢献室長
植木 力(うえき ちから)



- ・本社：京都市南区東九条西河辺町33
- ・設立：平成13年1月（創業・平成13年4月、平成18年6月 社会貢献室を設置）
- ・資本金：1千万円
- ・事業内容：オフィス家具、オフィス消耗品、工業用作業品等取扱、ソーシャルビジネス。
- ・社会貢献室顧問：堀田 力 ほか2名

～VEC発刊の「ベンチャー白書2016」発売～

我が国唯一の公式ベンチャー統計&動向分析として今年も下記のスケジュールで発刊。ベンチャーに関心のある方必携です！

お申込みはVECにて受付中。 * 東京本部 TEL 03-3230-8902 * 関西支部 TEL 06-6263-0366

<発行スケジュール>

	発行日	媒体	定価	発行場所
電子版	2016年10月3日	PDF	5,400円	・VECのHP ・DLマーケット
ベンチャーニュース	2016年10月31日	PDF	無料	・VECのHP
冊子版	2016年11月28日	紙製本	5,400円	・全国の書店 ・Amazon、楽天ブックス等のオンライン書店

～ATACが創立25周年～

◎ATAC (Advanced Technologist Activation Center) は 一財) 大阪科学技術センターの創立30周年事業の一つとして1991年に設立され、今日まで中堅中小企業の技術支援を中心とした集団としてご活躍中。メンバーは民間企業を退職された豊富な経験やノウハウを有する技術OBや事業経営者、管理職OBによって構成されています。またコンサルティングの外にも講演会、セミナー、社長懇話会、見学会、「ATAC News」の発刊、補助金の申請書作成サポート等幅広い活動で企業や社会に貢献。創立以来のコンサルティング件数は累計で800件、220社を超えておられる。

◎9月29日(木)には25周年を記念した講演会も開催され会場は超満員の盛況となりました。

記念講演会の講師 ・白光株式会社 代表取締役 吉村 加代子 氏 ・演題 「強みを活かす ～違いを超えた人財育成」

同社は「はんだ付関連機器」のメーカーとして世界60カ国に輸出され、ホビーから宇宙開発まで幅広く展開中。

・名古屋大学教授 天野 浩 氏 ・演題 「世界を照らすLED」

2014年にノーベル物理学賞を受賞され、現在は名古屋大学において高効率パワー半導体など新たな省エネルギー及創エネルギーデバイスの創成に向けた技術開発を進めている。

◎25周年記念誌 ～ATAC運営委員長 梶原 孝生氏の寄稿文からその一部をご紹介します～

「ATACと同じように定年退職者が第2の人生を中小企業支援に生きがいを感じて活動している組織も全国に数多く存在します。」

(中略)「数年やって飽きた、それほど期待している小遣い稼ぎにならなかった、歳を取ったので沢山だといった声が聞こえてきます。それは定年後の暇つぶしの気分でいたからです。ATACはそこが違います。まず第一に今まで受けた社会からの色々な恩恵に対するご恩返しで、いかにこれからの人生を社会貢献に尽くそうかという覚悟があるかです。ATACは先ずここに使命感をもって中小企業支援にあたってきました。ATACに新たに加入したい方々にも、最初に求めるのがこのことで、その覚悟を確認してから入会をしてもらってきました」(以下略)

ATACの連絡先： 大阪市西区鞠本町1-8-4

一財) 大阪科学技術センター内 TEL 06-6443-5323

記・一財) VEC関西支部 事務局



光輝く島「スリランカ」の超最新情報

10年以上に亘る東南アジアの経済文化視察もほぼ行きつくし、今回は南アジアに位置するスリランカ(元セイロン)に初めて挑戦した。コロンボ・バンダナイケ空港を降り立つと空港内の特別室へ案内され、サプライズが始まった。白バイとパトカーに囲まれ恒常的に渋滞する道路を白バイ先導でサイレンを鳴らしながら他の車を左右に誘導いただき、運転手の巧みなドライバーテクニックもあり、あっという間に、今回のスリランカ経済文化視察に特別の設営と格別のご配慮をいただいた、スリランカ人のラッド社長事務所に着。事務所入口でも民族衣装に着飾った民族舞踊に出迎えられる歓迎ぶりであった。

初日はスリランカと日本の友好に役立てるため、第一回の日本・京都案内セミナーを開催、約20名のスリランカの方々に日本・京都案内を実施、理解を深められたと考えます。翌日、ピンナワラの約50頭の象を保護する孤児院と水遊びを見学後、ラプナプーラにあるラッド社長が10ヶ所も所有する宝石の鉱山を見学、実技も体験し採掘から研磨作業まで見学することが出来ました。3日目は予約済みのジェトロスリランカ事務所を訪問し、「スリランカのビジネス環境と日系企業動向」について詳しく拝聴出来ました。スリランカを要約しますと以下のとおりです。

1. スリランカの概況
 - ①国名 スリランカ民主社会主義共和国 ②人口 2,096万人 (2015年推計) ③面積 65,610km² (北海道の約0.8倍) ④言語 「公用語」シンハラ語・タミル語 「連結語」英語 ⑤宗教 仏教徒 (70%) ヒンドゥー教徒 (10%) イスラム教徒 (9%) その他 (11%) ⑥気候 熱帯 ⑦首都 スリジャヤワルダナプラコッテ (大統領府はコロンボ) ⑧日系企業 約130社 (2016年7月時点) ⑨在留邦人1,015人 (2015年10月時点)
2. 日本との関係
 - ①1952年サンフランシスコ平和条約発効を機に国交樹立 ②ODAでは道路等のインフラ整備、コロンボ空港の拡張、下水道整備、メガポリスプランの協力等に貢献している。
3. 経済状況 (東南アジア各国と比較し、優れている項目は下記のとおり2015年現在)
 - ①一人当たりGDP 3,768 (米ドル) ②識字率93% ③貧困率3.46 ④自動車保有台数 46 (台/千人) 日本車が圧倒的に多い 関税300%と高い
4. 主要経済指標 (上記以外2015年)
 - ①実質GDP成長率 4.8% (2015年) ②貿易収支 ▲8,430百万ドル ③経常収支 ▲2,000百万ドル ④政策金利 6.0% ⑤工場労働者の平均月額賃金約143ドル
5. スリランカを訪問する観光客推移 (前年比) 2015年 全体約180万人 インド (30%) 中国 (68%) 英国・ドイツ (12%) 米国 (20%) 日本 (0.6%)
6. 海外直接投資動向 (百万ドル) 香港188 中国 151 モーリシャス 139 オランダ 90 日本8 (17位)
7. 今後の課題等 交通渋滞の解消のための道路等のインフラ整備 慢性的な歳入不足と輸入が多く貿易赤字の拡大等財政改革も含めた構造改革が必要。しかし、2009年に内戦も終結し、現在は高層ビルの建設、370mのテレビ塔の建設、コロンボ港の拡張、メガポリス計画の推進等活気溢れる国になりつつある。又、ポルトガル、オランダ、英国の影響を受け、古い欧風の建物が多く、治安も良い落ち着いた国との印象を受けた。国公立の大学までが学費が無料で教育を受けている人口のすそ野が広く、英語が話せる人材が多い。南アジアでは珍しい仏教国で男女同等に社会進出が進んでおり気質は穏やかで、笑顔がある。今回特にお伝えしたい日本人あまり知らない歴史があります。J.R.ジャワルデナ氏 (当時大蔵大臣、後の大統領) が1951年9月6日サンフランシスコにおける日本との平和条約締結調印会議で行ったスピーチ等を保管した会館の見学です。当時のソ連の修正条項に反対し、「憎しみは憎むことによって消えず愛することによってなくなる」とのブッタの言葉を引用し、日本を自由な国にし、制約もつけず、援助を求めやすくし、賠償金も日本から取り立てないよう平和と繁栄に前進するよう日本の復活を望み訴えたスピーチにより、今日の日本があるように感じました。水深15mのコロンボ港を有するスリランカは大型船も寄港でき、インド、中東、東アフリカ、東南アジアまで広範囲にカバー出来る物流ハブ港として2015年年間コンテナ取扱量520万TEUと年間伸び率5.9%、又、比較的低賃金の労働力もあり、今後、港湾立国として積極的に世界にPRすれば益々発展していく可能性を秘めている国と考えます。

今回のスリランカ経済文化視察に際し、ジェトロ菅原様とノジリインターナショナルラッド社長様に改めて謝意を表します。

一般社団法人ベストビジネスセンター 代表理事 山下 太一郎

～VEC関西より～

・東京出張から我が家へ帰る途中風に乗って金木犀の香りがふっと鼻をかすめました。ああ、もう、秋だなあ。家に到着すると我が家の金木犀も金色の花を一杯つけて匂っていました。これから来る寒い冬に向けて自然のご褒美なのかな。また明日からもベンチャーサポートに、経営に頑張ろう。(本田)

・断舍利をしなればと考えているうちに、部屋の模様替えもしたい!と思っ
てしまえば天保山にある組立家具等で有名なIKEAに行きました。家族連れも
多く結構長い時間でも退屈しないような工夫がされ、楽しかったです!お目
当ての家具も購入し四苦八苦しながら組立、出来上がったときの満足感
♪・DIYにはまりそうです! (藤本)

・10/4 EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016ジャパン東海・北陸大会
が名古屋にて開催され参加いたしました。東海地方の多くの経営者の方々

ご紹介して頂き、又2015年同大会の日本代表としてVEC評議員でおられる
(株)東海メディカルプロダクツ 筒井会長様ともお会いでき大変充実した
時間を過ごすことができました。これからも中部地区と連携を拡大してい
きたいと思っております。(濱本)

・「世の為、人の為」をモットーに経営や組織運営をなされている方々からの
メッセージは改めて創業や事業継続に大事な要素のひとつとして拝読いた
しました。山下氏からのスリランカ視察報告の中でJ.R.ジャワルデナ氏の演説
が戦後日本の処遇を決めるのに大きな要因であったことを知り、歴史を再認
識いたしました。(澤村)

<交流会の予定>

例年どおり12月、1月の開催はございません。

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293